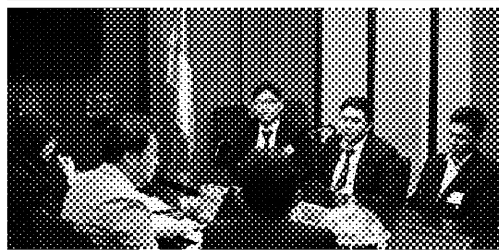


外国人施工管理技士を育成

ウィルオブ・コンス
ト 年度内200人採用

ウィルオブ・コンス
トラクシオン（東京都
新宿区、田中謙社長）
は、施工管理技士とな
る外国籍人材の採用を
強化する。建設業界に
おける人手不足問題の
解決につなげるほか、
専門知識を学んでいて
も作業員として採用さ
れる例が多い外国籍人
材を施工管理技士へと
育て、キャリア形成を
支援する。2025年
度中に200人の採用
を見込み、今後も年間
200―300人の採
用を目指す。

日本語習得のしやす
さや宗教観などを踏ま
え、インドネシア、ネ
パール、モンゴル、ミ



ヤンマーで採用する。
インドネシアでは建築
や土木、設備関連の学
科を持つ3大学とも提
携。現地での就職説明
会などを通じて学生や
卒業生に求人情報や面
接の機会を提供し、安
定して人材を確保する

体制も整えた。

ウィルオブ・コンス
トラクシオンは内定後
に現地で1年間の日本
語教育を行い、日常会
話がある程度理解でき
るN3レベル以上の習
得を支援。施工管理技
士に求められる高いコ
ミュニケーション能力
の獲得を後押しする。
日本の現場への派遣は
27年度以降を予定し、
実務経験を積みながら
施工管理技士の資格取
得を目指す。

資金面だけでなく、
専門用語や過去の試験
問題を学べるアプリケ
ーションも提供し知識
面も支援。口座開設や
住居の手配、交流会の
開催など生活・精神面
▲インドネシアで施工管
理技士を目指す外国籍
人材の面接を実施した

もサポートする。安心
して働ける環境を作
り、定着率向上につな
げる構えだ。

同社によると、外国
籍人材の活用には円滑
な意思疎通への不安な
ど日本側の心理的な壁
が大きいのが現状だと
いう。今後は外国籍人
材の浸透やニーズの増
加に合わせ、より多く
の人材を採用すること
も視野に入れる。